

① 地域共生社会について

地域共生社会では、多様な価値観や能力を尊重し、相互理解を促進するためのコミュニケーションと協力が重要であり、地域内での教育や情報共有を通じて、住民の意識を高め、健康や教育、雇用、そして、福祉領域において共同で取り組む力を養うことが求められます。その福祉に関し本町は、長与町第3次地域福祉計画において、その冒頭に「子どもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して豊かな生活をおくることができる「地域共生社会」を目指します。」としています。地域共生社会のコンセプトは、地域のニーズと価値観を尊重し地域住民の参画を重視します。また、職員の育成や社会福祉協議会などへの福祉に関する委託業務においても、地域の声を聞き入れ、住民や関係者と協力してニーズを把握し、プログラムやサービスの計画・実施に反映させることが重要です。そこで以下の質問をいたします。

- (1) 「地域共生社会」とは、具体的にどのようなことを指すのか。
- (2) 推進するために必要なことをどう捉えているか。
- (3) 「地域共生社会」を構築していくためには職員の育成が重要である。様々な研修等を実施していると思うが、その内容はどのようなものか。
- (4) 研修後、その内容をどのように生かしているのか。
- (5) 行政の業務の中には外部への委託業務があるが、工事関係以外の委託業務はどのような形で発注し契約をしているのか。

② 福祉バスについて

福祉バスは地域の交流や社会活動に欠かせない役割を果たしています。現在、長与町社会福祉協議会の福祉バスはマイクロバス1台になり、乗車人数が27人に限られているため、自治会、老人会に加え学童や小学校の活動にも支障が出てきています。地域のイベントや研修などへの参加が難しくなったことで、住民同士の交流が減少しコミュニティの結束力が弱まる可能性もあります。また、地域全体の活気や賑わいを損なう結果を招くことにつながるのではと危惧しています。今後、町が関与することで継続していくことが一つの解決策になると思いますが、本町の考えを伺います。